

## 図書館《私の使い方》

小島 永莉子

図書館は本を借りるだけの場所でしょうか。それでは大学の図書館の意味がありません。私は学生に整った環境を提供してくれる場所だと思っています。

勉強をしようとしても、自宅では思うように進まないということはありませんか。そんな方にとって図書館は強い味方です。周りには黙々と自習している学生ばかりで、最初は圧倒されてしまうかもしれませんが、気持ちが引き締まり自分も頑張ろうと思えてきます。まずはお気に入りの席を見つけリラックスしてください。次第に集中してきたら、隣から聞こえてくるペンを走らせる音も心地よく聞こえてくるかもしれません。勉強に飽きたら館内を歩いてみてください。何気なく本棚を見ているといろいろな発見があるものです。雑誌や絵本もあります。それにも飽きたらぜひ書庫に入ってみてください。図書館のほとんどの本が書庫にあるので意外と迫力のある光景です。書庫の独特の匂いとひんやりとした空気を楽しむのも良いと思います。

そんなことをしていると何時間でも入り浸ることが可能です。なにより夏涼しくて冬暖かいのは嬉しいですね。そして図書館の一つではありません。皆さんご存知の七号館一階にあるのは本館で、もうひとつ分館(アジア関係図書館)が九号館の二階に存在するのです。名前の通りアジア関係、特に中国語の本が数多くそろっています。本館に比べるとだいぶ狭く、利用者も少ないので人混みが苦手な方におすすめです。自習したい時に限りません。特に目的が無くとも、授業の合間など時間が空いた時、ふらっと立ち寄ってみてはいかがでしょうか。素敵な一冊が見つかるかもしれませんし、図書館に馴染むにつれそこが落ち着ける自分の居場所になってきます。

一步図書館へ足を踏み入ると外の喧騒が嘘のように静かでゆっくりとした時間が流れています。お気に入りの席で有意義な時間を過ごすのも学生ならではの醍醐味だと思います。どうか図書館を外大のお気に入りの一つにしてください。

こじま えりこ (中国語学科4年次生)

